

議会だより チェック・アンド・バランス おがわ

いまだ見えない 和紙体験学習センター

町民の声を町政に 9人が一般質問 P.7

No. **76**
2015.8.1

収穫祭（八和田保育園）



いまだ見えない 和紙体験学習センター



小川町和紙体験学習センター

今定例会では、国の税制改正に伴う小川町税条例の一部改正など専決処分承認を求める議案や、平成27年度一般会計補正予算を含めて7件（うち、撤回1件含む）が提案。撤回を除く6件について全て可決・承認しました。

なお一般質問には9人の議員が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし、政策提言を行いました。

補正予算、いったん取り下げに

和紙体験学習センター¹の活用については、以前から多くの議員が取り上げてきました。

当初、補正予算に和紙体験学習センター図面作成委託料が盛り込まれていましたが、質疑応答の中で「町の姿勢がいまだに見えてこない」「算定基準が明確ではない」など、意見が続出。

執行部がいったん補正予算を取り下げ、議会最終日に和紙体験学習センター図面作成委託料を除いて再提出。全会一致で可決しました。

平成27年度 一般会計 補正予算 (主な質疑)

和紙体験学習センター どうしたいの

問 今後の目的・めど、方向性は。
答 やはり図面がないと話ができないので、基礎資料をつくってこれからの展開を進めていきます。施設そのものを後継者育成の拠点として継承していけばよいかと考えています。

問 具体的な動きが出てくると期待していたが、方向性が見えてこない。「設計をしてみても、結果だめでした」ということになるのではないのか。「和紙センター」をどうするのか「議会」で何度も議論されてきた。「忙しい」を理由に何もしていないと言われても仕方がないのではないのか。人を配置しないのか。
答 忙しくてもやるのが職員の範たるものです。「伝統工芸会館は見せるもの」「和紙学習センターは学習するもの」という考え方は揺るぎないものです。

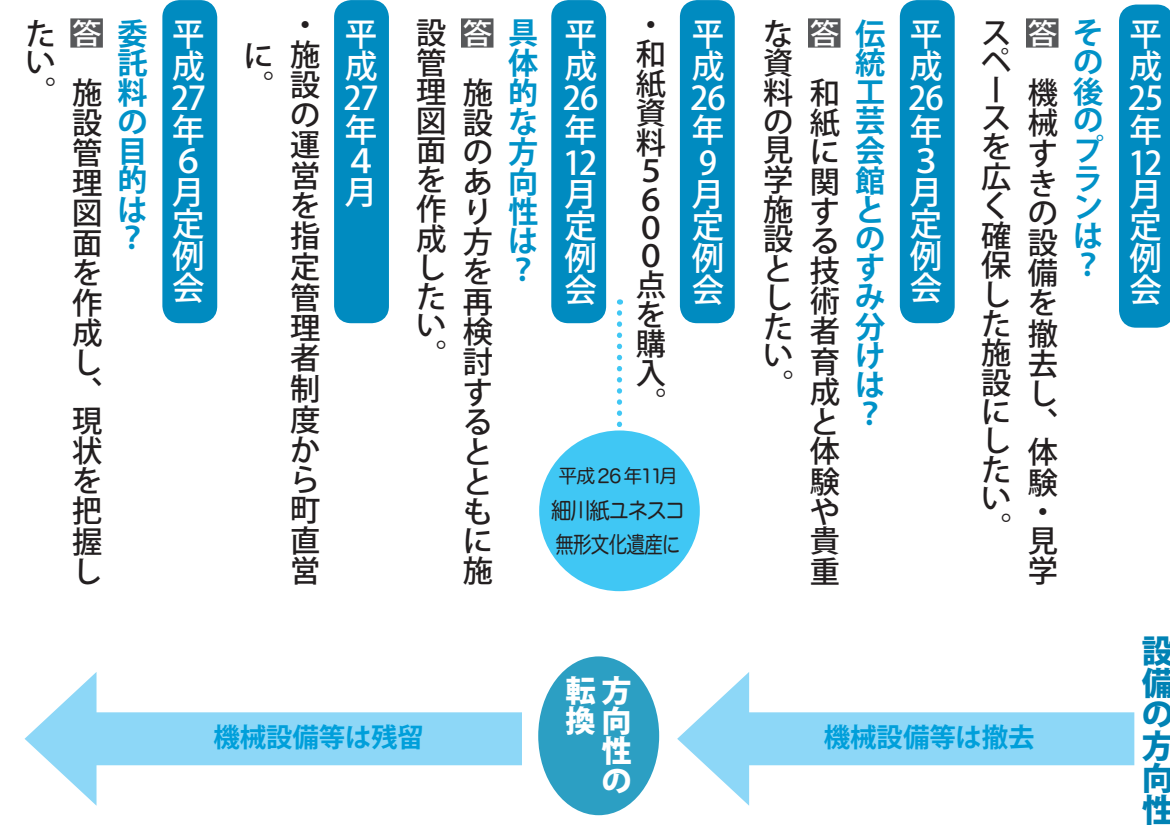
図面作成委託料 算出根拠は

問 財政難からさまざまな分野で削減をする方向だが、2カ所の拠点でいくのか。
答 何が何でも減らすのではなく「メリハリをつけて使うところは使う」「削るところは削る」のが、新年度予算の考え方です。

問 現状ある建物を調査、図面を描くだけなら10分の1の費用で済む。職員でも対応できると考えるが、算出根拠は。
答 役場職員有資格者に積算してもらいました。建築確認で利用できる精度レベルを兼ね備えたものになると考えます。

問 最初は図面がないと話ができないから管理台帳図面の作成、最終的には確認申請が取れるまでという答弁。改築、改装等がありきの考え方なのか。どこまでやるのか、資料を提出し、もう少し明確に算定基準の根拠を示してもらいたい。
答 積算は町職員ではなく県の建築士会の方です。訂正します。担当者詳細を再確認させていただきます。

和紙体験学習センターをめぐる経過



¹昭和初期に埼玉県製紙工業試験場として建てられた施設を町が譲り受け、平成11年10月に開館。紙すき体験教室などを実施しています。

エアコン設置

残る4校の工事に遅れ

エアコン設置
今年度予定の小川小・大河小・西中・東中の工事は

問 工事期間の詳細は。子どもたちの安全は担保されているか。
答 工事期間は9月から2月を予定しています。主に冬季休業中と土日に作業が行なわれます。道具や資材の管理を徹底し、子どもたちの安全を確保します。
問 財源に見込んだ国庫補助金が対象外に。理由と今後の対策は。
答 国の方針で、今年度は補助金の使途を耐震に対する事業に限られてしまいました。空調設備に関する補

助金は皆減されてしまったからです。補助金の詳細をしつかりと把握し、申請に係る資料等、細部にわたって確認を徹底します。また、新たな助成金等、研究していきたい。

問 当初は、今夏の設置・使用が予定されていたが、かなわなくなった。住民への周知は。
答 何かの機会で案内・説明していきます。
問 使用に関するマニュアル・ルール等は。
答 使用期間や設定温度等は、今後の教育委員会の中で協議していきます。
問 地元企業の活用等、設置事業者の選定は。
答 現時点で考えはありません。

ませんが、公正な入札に努めます。また、より多くの地元企業が参入できるように形で対応します。

**中学校部活動
選手派遣バス代の増額**
問 増額の背景は、先の関越自動車道の事故を受けた法改正による、人件費
答 第一に生徒の安全を考えます。次に、予算が少なくなるような流れで、見直しも図ります。また、対象の学校とよく協議をして判断していきます。



活躍する小川町の中学生

の増額分と考えるとよい。
答 ご指摘のとおりです。一例ですが、大型バス・マイクロバスの使用料は約2倍になりました。

問 今後の方向性・考え方は。
答 第一に生徒の安全を考えます。次に、予算が少なくなるような流れで、見直しも図ります。また、対象の学校とよく協議をして判断していきます。

八和田公民館 太陽光パネルと蓄電池の設置

問 工期・工事日程は。
答 議決後、直ちに設計委託、本工事に切りかかり、2月までには完了する見込みです。
問 防災拠点としての位置づけにおいて、最低限の機能・設備と理解しているか。
答 本来は、CO2削減の規定に基づいた事業であり、その中で防災拠点の機能を補うものです。
問 エコタウン化・CO2削減量2等、町の取り組みを住民へ周知しては。
答 機会をみて積極的にアピールしていきたいです。
問 残る竹沢公民館への設置は。
答 来年度、同様の補助金を活用して設置を図ります。



八和田公民館

資金調達 借入先金利償還年数など

問 金利の低い民間金融機関から借り入れる考えは。
答 民間の金融機関は借り入れの額や期間によって、金利に幅が出てきます。情報収集に努めて、財政負担が少なくなるよう取り組んでいきます。

条例の定正 制改(主な質疑)

税条例 申請や 申告など

問 減免に対する申請を期限前7日から期限までとなった理由は。
答 電算化により、処理速度が速くなったためです。
問 マイナンバー制度が始まることでの文言の修正とのことだが、具体的には。
答 税務課関連では税に関する申請や申告、給与支払い報告などの中で個人番号を記入する欄が増えることです。

行政手続条例

問題はないか

問 今、差し迫った問題・案件・事例があったら示してもらいたい。
答 特にはありませんが、行政指導が行なわれ、次の行政処分を行なうことができないという流れがはつきりします。
問 それにより、行政指導等の権限の乱用はないか。
答 その心配はありません。

職員の給与

職員の自動車 通勤

問 自動車等で通勤している職員の通勤手当が、1キロメートル当たり550円から670円に増額される。理由・根拠は。
答 県の人事委員会が、前年のガソリン価格を考慮して改定しました。町もそれに準じて増額します。



役場職員駐車場

審議議案と議員の賛否

議案名	議員名	審議結果
専決処分の承認（税条例等の一部を改正する条例制定）	小林 一雄	承認
専決処分の承認（都市計画税条例の一部を改正する条例制定）	戸口 勝	承認
税条例の一部を改正する条例制定	大塚 司朗	可決
行政手続条例の一部を改正する条例制定	宮澤 幹雄	可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	根岸 成美	可決
平成27年度一般会計補正予算（第1号）	大戸 久一	撤回
平成27年度一般会計補正予算（第1号）	松葉 幸雄	可決
	金子 美登	
	松本 修三	
	高橋 さゆり	
	山口 勝士	
	柴崎 隆夫	
	島崎 勝	
	高瀬 勉	
	井口 亮一	
	柳田 多恵子	

※（○）は賛成、×は反対、欠は欠席 議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

ごみ処理施設建設に向け議会がスタート！

5月29日、埼玉中部資源循環組合議会 第1回臨時会開催

昨年12月議会で加盟を決めた東松山市・桶川市・滑川町・嵐山町・小川町・吉見町・ときがわ町・東秩父村各議会選出20名による議会。今後この議会でさまざまな内容が審議されます。

今回は組合の形を決定する各種専決並びに27の条

例・予算が審議可決されました。住民の皆さんにより理解していただくための情報公開条例もその1つです。課題も多いですが、建設に向けてのスタートが切られました。

2昨年度には、庁舎エコオフィス化改修事業として、空調設備の更新、照明設備のLED化などが行なわれました。今年度からは、庁舎の二酸化炭素の排出量及びコスト削減に向けた取り組みを行なっています。それらの取り組みは町ホームページの「エコタウン通信」でごらんください。



質問 先の統一地方選挙の結果を踏まえ、来る8月の町議会議員選挙の投票率は、向上の手立てや考えは。



高瀬 勉 議員

答弁 総務課長 選挙日を8月9日とし、県知事選挙と同日としました。これにより、有権者の関心も高まり、相乗効果により投票率のアップが期待できると考えます。また、県選挙管理委員会が行なう各種の啓発事業に加え、町は広報及びホームページへの掲載・「明るい選挙」の全世帯配布・庁舎へ懸垂幕の掲出・防

質問 選挙権の年齢引き下げ6を受けて、早い時期から選挙の意義・仕組み等の理解を深める教育が必要になる。その一端を担うであろう子ども議会の必要性と開催に向けた考えは。



平成5年に開催された小川町子ども議会

よう、各校や学年に応じた選挙の意義・仕組み等の理解を深める教育が今日、求められています。学校や教室の場を離れ、実際の議会の雰囲気や環境下で、身近な事柄について討議・協議する体験は、貴重な学習経験につながると考えます。したがって、来年度以降でできるだけ早い段階で開催できるよう準備に取りかかりたいと考えています。

6 70年ぶりの改正で、現行の20歳以上から18歳以上に引き下げられます。来夏の参院選から実施し、新たに高校生を含む約240万人が有権者に加わります。

体験学習

子ども議会の開催は

開催に向けて準備にとりかかります



町政をただす

一般質問とは、議員が町の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会だよりでは、このやりとりを要約して報告しています。今議会では、9人の議員が一般質問を行ないました。



視察をふまえての調査研究報告

調査研究テーマ

平成26年11月5日(水)～6日(木)

人口減少及び少子高齢社会に対する取り組み

長野県川上村3、群馬県上野村4・南牧村5を視察 (今回の視察研修は、全委員会合同で行ないました)

人口減少及び少子高齢社会に立ち向かう取り組みをテーマに、3自治体における総合的な村づくりに資する施策について、3委員会合同で調査研究をしました。

どの自治体も減少が加速度的に進行し、地域経済への影響が懸念される中、地域の特性に即した効果的な取り組みを進めている状況が確認できました。

村づくりにかける思いと手法はさまざまです。特に川上村では、特色ある「村づくり」と特産品を見出し、活性化を推奨し実現しています。

また、首長の行政手腕・探究心・行動力は大いに見習うべきです。具体的には、定住促進をはじめ、雇用の創出や郷土愛にあふれる若者の結集を不可欠としています。当町もこれまでさまざまな計画は立てたものの、実現に乏しいものがあります。

町の魅力を再検証してアイデアを結集し、所管のみならず、横断的体制の姿勢を臨むものです。限られた財源を効率よく配分し、次世代への投資を惜しまず、他に類を見ない独自の人口減少と少子高齢対策の推進を希望するものです。



川上村庁舎玄関前



どんな制度が用意されている？

3 全村下水道整備、全戸村営テレビ導入、24時間オープン図書館、村営のほり診療所、不妊治療補助、高校卒業まで医療費の無料化など

4 定住対策(雇用・村営住宅整備、生活支援の提供)子育て支援(誕生祝い金・入学祝い金・養育手当支給、高校卒業まで医療費を無料)など

5 結婚祝い金、出産祝い金、保育料全額免除、学校給食費全額免除、通学補助、子育て世代転入奨励金、新築・増改築費補助、空き家活用の定住促進など

議員活動、こんなこともしています

七夕まつり 平成27年7月25日～26日

「北関東一を誇る竹飾り」と称される、当町の七夕まつり。

しかし、その数は年々減少傾向にあり、たびたび議会でも対策等が取り上げられています。議会は、まつりを盛り上げようと、平成24年度(第64回)から竹飾りコンクール(受賞対象外)に参加しています。

また、マスコットキャラクターの星夢ちゃんをはじめ、近隣町村のゆるキャラたちによるジャンケン大会等のイベントを企画し、好評をいただいています。



寄居北條まつり 平成27年5月10日

ホンダの進出が縁で、寄居町議会の皆さんと年に1度、交流・懇親会を開催しています。

とし、節目の10回を数えた会場で、新たな試みとして、お互いの町が有するお祭りに参加することになりました。

去る5月10日、盛大に開催された寄居北條まつり。



ユネスコ無形文化遺産登録を記念し、「細川紙甲冑隊」の名で、東秩父村議会の皆さんとともに参加してきました。



ガス導管更新事業に費用の補助を

現状の枠組みの中では難しい



井口亮一 議員

「力強い」支援策が住民の定住につながる！

質問

住宅団地での定住促進につながるインフラ整備などの支援策は。

①東小川地区をはじめとした、ガス導管の劣化に伴う宅地内の導管更新事業において、工事費用の補助を国や県、町で実施できないか
②深田地区の下水道施設の劣化に伴う施設更新事業は、公共下

答弁 都市政策課長 ほか ①現状の枠組みの中では難しいです。住民の声を聞く中で、公益的な観点から行政が支援していく部分を整理し、国や県への働きかけについて検討していきたいです
②深田下水管理組合では、計画的な管路更新や運転管理などに



みどりが丘2丁目土砂災害特別警戒区域

努力されています。これからの技術的な相談や指導について継続したいです
③民地ではなく官地ですので、町に管理責任があります。防災の観点からは、予算措置ができれば定期的あるいは大雨の後など、専門業者による現地の調査を実施していきたいと考えています。

まちづくり

消防署跡地の活用は隣接地と一体で

一体的活用を図ります

質問

消防署跡地の活用は、その隣接する学童保育も一体的に考えるべきと思うが、町の考えは。

答弁

政策推進課長 町の情勢や財政状況等を考慮し、隣接する放課後学童クラブの移転も視野に消防署跡地の一体的活用を図りたいと考えています。

質問

西中学校の体育館跡地の有効活用を。

答弁

学校教育課長 体育館跡地は、学校管理下に置かれていますので、体育



高橋さゆり 議員

前向きな答弁が町を元気にするんだよねえ～

質問

①増田寛也編著『地方消滅』

について、どう思ったか
②多子世帯の経済的支援、住居支援の現状は
③当町の新規就農希望者への定住施策はないのか
④「木質バイオマス発電」等、バイオマス関連の研究人材育成の拠点づくりに取り組まないのか。

答弁

政策推進課長 ほか ①人口

減少と少子高齢化の進展は当町でもより顕著で、強い危機感を持って受けとめました。これに打ちひしがれずにデータを集め、人口動



木質バイオマス発電での電気の自給 (岡山県真庭市)

金子美登 議員

まちづくり

町が消える前に何をすべきか

人口動態の把握に努めたい

歴史、文化誇れる小川町を何としても再生しよう



態の把握に努めたいと思います
②多子世帯への経済的支援策として、国の基準に基づき負担金の軽減や就園奨励費⁷の支給を行なっていますが、施策的な意味での住居支援は行なっていない
③当町で有機農業研修をし、その後、新規就農を希望する者が多いため、平成20年より「小川町有機農業推進協議会⁸」を発足。26年か

ら農業用住宅機構バンクを立ち上げ、新規就農者の定住に向け、相談等とあわせて情報提供を行なっています
④当町には生ごみのバイオマス活用等、自然エネルギー利用の実践者も多く、それらの技術や経験等を活かす取り組みについて、関係機関・団体と連携していきたいと思っています。

の授業や部活動における代替グラウンドとして活用されています。

質問

西中学校は地域の学校であり、災害時の防災拠点になっている。学校開放、例えばグラウンドゴルフなどができる場所にできないものか。

答弁

教育課長 学校教育活動に支障がないということであれば町の財産でもありますし、大いに地域の方に体育館跡地も含め、施設や敷地を利用していただくのは、やぶさかではないと捉えています。

質問

旧上野台中学校の跡地利用は。

答弁

政策推進課長 町が普通財産として、施設を所



西中体育館跡地

その他の質問

◎子ども・子育て支援
◎第67回小川町七夕まつり

有し続けることは財政的にも厳しい状況です。一刻も早く活用方針を決定し、民間活力なども視野に入れて、引き続き検討していきます。

⁷ 私立幼稚園に在園する満3・4・5歳児の保護者を対象に、所得の状況に応じて保育料等の一部を補助(6万2,200円～30万8,000円の間)があります。

⁸ モデルタウン事業として、研修や普及啓発活動、実験ほ場の展開をしています。

11

就学援助制度

よりわかりやすくさらに充実を

改善を図ります

どの子どもも同じ
スタートラインに



柳田多恵子 議員

ついては、他市町村との状況を参考に、クラブ活動費を中心に検討します。入学準備金の前倒し支給は、毎年、認定が6月になるため難しいと考えますが、ほかの方策についても検討を加えていきます。

質問

県内の学校給食費の助成状況は、①多子世帯への給食費の助成を②寄居町が高校卒業までの医療費無料化を進める

針は「クラブ活動費・生徒会費・PTA会費」も就学援助の対象だが、当町も補助項目に加えることは。

質問

就学援助制度10の改善を求めてきた。申請書に対象となる家庭の収入など、具体的にモデルケースとして提示することや記入例を添付し、制度の内容をわかりやすくすることは。

針は「クラブ活動費・生徒会費・PTA会費」も就学援助の対象だが、当町も補助項目に加えることは。

回答

学校教育課長 門戸を広くすることは必要だと考えます。ご指摘の点は、配布用紙の裏側に印刷して改善を図りたいと考えます。補助項目に

針は「クラブ活動費・生徒会費・PTA会費」も就学援助の対象だが、当町も補助項目に加えることは。

保護者の皆さんへ「就学援助制度」お知らせ

学校でかかる費用（学用品費・学校給食費等）の補助が受けられます。

お住まいの状況、所得で補助の額が異なります。町では児童手当・児童扶養手当・児童手当等についてお住まいの状況で補助の額が異なります。お住まいの状況で補助の額が異なります。お住まいの状況で補助の額が異なります。

所得区分	学用品費	学校給食費	医療費	その他
第1区分	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
第2区分	8,000円	8,000円	8,000円	8,000円
第3区分	6,000円	6,000円	6,000円	6,000円
第4区分	4,000円	4,000円	4,000円	4,000円
第5区分	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円

※所得区分は、町民税の所得区分に基づきます。

就学援助制度説明書

回答

学校教育課長 ほか ①近隣では滑川町が全額無料、東秩父村が子ども一人当たり2000円の助成金があります。②と

きがわ町・吉見町では一般会計から食材費への繰入金があります。63市町村中59市町村が15歳までの無料化、朝霞市が入院のみ18歳、越生町・滑川町・新座市が18歳までの無料化。寄居町は秋ごろに始めると聞いています。

その他の質問

◎生活困窮者自立支援制度の町の取り組み ◎自衛隊への個人情報提供

まちづくり
人口減に対する処方箋は
実効性のある取り組みを図ります

何が何でも消滅させない
執念がほしいな



戸口 勝 議員

質問

10年前に掲げた事業所目標達成度が困難な状況である。なぜ企業誘致に本腰を入れないのか。

回答

産業観光課長 日本経済の変動、本田技研の生産体制の遅れもあり、町みずからが営業をすればよいのですが、七夕まつりの運営・和紙体験学習センターの管理があり、人員が足りず厳しいです。

質問

将来の町にとつて大きな負担は、ごみ処理場の老朽化対策費と新ごみ処理場の建設費、そし

サービス低下を招くとのこと。また、将来の人口に合わせ40%の公共施設に縮小することだが、歳出減に特化するだけでなく、歳入拡大への取り組みはしないのか。

て吉見町までの運搬費用である。その軽減案は、ごみ減量化しかない。今後の町の対応は。

回答

環境保全課長 まさに、ごみ減量化が大きな課題です。地域・住民・町のそれぞれの立場で、また共同して何ができるかを考えていきます。

質問

駅北口、新ごみ処理場、新斎場の実現は多額の費用がかかるため、町民

が、今後企業誘致から生まれる従業員増、人口増につながる対策を考えていきます。

回答

政策推進課長 税収が基本ですが、今後企業誘致から生まれる従業員増、人口増につながる対策を考えていきます。

政策推進課長 税収が基本ですが、今後企業誘致から生まれる従業員増、人口増につながる対策を考えていきます。

小川町のこれから

ごのかみよしふみ 錦町 護守吉史



小川町もほかの自治体同様、少子高齢化・人口減少・後継者不足などの問題を抱えていると思われます。私の住んでいる街なかでも高齢化が進み、空き家も増えています。テレビや新聞などで、いろいろな自治体の取り組みを目にすることがありますが、町も何らかの取り組みを行わないと将来も明るくありません。

参考になる取り組みは取り入れることも大事だと思いますが、ほかの模倣だけではなく小川町独自の新しいまちおこしの取り組みを考えるべきだと思います。

例えば、町・民間・個人、老若男女を問わず、全ての人から幅広くアイデアを募集するというのはいかがでしょうか？ インターネットなどを使い、コンテスト形式にするのもおもしろいと思います。

町民が町の将来を考え、町と協力し、よりよくなるよう実行・実現していくことが大切だと思います。



10 経済的な理由で就学することが困難な小・中学校の児童生徒の保護者に対し、学用品など学校生活に必要な費用を援助する制度です。

11 新入学児童生徒の学用品費として、小学校1年生に2万470円、中学校1年生に2万3,550円が支給されます。

我が町再発見

「バラに魅せられて活動」

花の女王と言われているバラの魅力は、香り・花色・花形が千差万別で、花期が長いことです。

そんなバラに魅せられた人たちと、栽培技術の向上とバラ栽培をより広めたいとの思いから、平成18年3月に小川バラ会を設立。公民館を拠点に植え込み・剪定・植え替え等の講習会やバラ園見学会、春と秋に展示会を開催しています。

また、平成24年から役場庁舎前花壇にバラを植栽し、会員が交代で四季折々の手入れを行ない、環境美化にも貢献しています。



小川バラ会 会長 関口吉男 せきぐちよしお



役場庁舎前花壇



編集後記

2年前、このメンバーで編集委員会がスタートする際（69号）に抱負を語った6人。
さて有終の美は……。

この2年間全力で取り組みましたが、伝えることの難しさや「文字の力」の素晴らしさを実感しています。ご拝読いただき、ありがとうございました。編集委員 戸口 勝

2年前、親しまれる議会報を目指して、3つのお約束をしました。全て守ることができたか自信はありませんが、一生懸命取り組みました。議会報が皆さんの身近な存在になっていたうれしいです。

編集委員 高瀬 勉

議会報を手にしていただけるように、2年間精一杯頑張ってきました。またご縁があれば携わりたいですね！

編集委員 高橋さゆり

議会報発行までには、いつも議論百出。夜8時過ぎまで会議を重ねたこともありました。各編集委員の思いを受け止めていただければ幸いです。皆さんを誇りに思い、お礼の言葉とします。お疲れさまでした。

編集委員長 柳田多恵子

私たち議員は、町執行部に対し、住民の代表として勉強を重ねて意見・提言をしてきました。これからも伝える努力をしていきます。

編集委員 島崎隆夫

当町の課題、今後の政策について、議員と町執行部との議論をわかりやすく、忠実に伝えることに努めました。

編集副委員長 大戸久一



議会だより おがわ No. 76

小川町議会だより 76号
平成27年8月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会
〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚 55 番地
TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877
<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

議会広報発行特別委員会

議長	小林 一雄
委員長	柳田多恵子
副委員長	大戸 久一
委員	戸口 勝
委員	高橋さゆり
委員	島崎 隆夫
委員	高瀬 勉

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会は

9月下旬の予定です

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。

